#### 【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】中学校用)

都道府県名 北海道

学校の概要(平成15年4月現在)

| 学校名 | 北見市立南 | 中学校   |       |      |       |     |
|-----|-------|-------|-------|------|-------|-----|
| 学年  | 1 年   | 2 年   | 3 年   | 特殊学級 | 計     | 教員数 |
| 学級数 | 4     | 4     | 3     | 2    | 1 3   |     |
| 児童数 | 1 3 1 | 1 2 6 | 1 0 8 | 7    | 3 7 2 | 2 7 |

### 研究の概要

## 研究主題

基礎的・基本的事項の定着、向上を目指した指導

# 2.研究内容と方法

(1) 実施学年·教科

第2学年 数学 (必修教科)

生徒の理解の程度に差が出やすい教科であるため。

第3学年

3 学年 国語、社会、数学、理科、英語 (選択教科) 選択教科内に「選択 B(70時間)」を設け、基礎学力の定着を目指すため。

# (2) 年次計画

平

年

度

16

年

補充的な学習のための教材の開発

個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善

研究の見通し

教科書の内容を完全に網羅した教材を開発することで、単元の学習後や定期 テスト前の復習、3ヵ年の学習の復習などに活用でき、生徒の「基礎・基本」の 定着、向上につながる。

生徒自身による選択が多様にできる選択教科の時間を設けることで、一人一 成. 人の必要性に応じた学習が可能になる。 15

研究の内容・方法
・ 補充的な学習に関する教材の開発:国語、数学、理科(選択教科)
全学年の理科における重要語句等を整理したドリル教材の作成
選択教科理科における補助教材を活用したプリント学習の実施

指導方法の工夫改善:国語、社会、数学、理科、英語、(選択教科) 第3学年の選択教科B(70時間)において、5教科6コース(数学は2コー ス)を12期の設定。(1期ごとに生徒自らに教科を選択させ、生徒の特質等に

応じた指導を行う。) ・指導体制の工夫:数学、英語(必修教科)

学級内におけるティーム・ティーチングの実施(チーフ・ティーチャーが主に -斉指導、サブ・ティーチャーが個別指導に当たる。)

## テーマ

補充的な学習と個に応じた指導のための教材の開発

個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善

平 研究の見通し

少人数指導等指導体制の工夫·改善、生徒の興味·関心を高める教材開発及び 活用方法等を研究することで、個に応じた学習を充実する。 成

選択教科における生徒一人一人の学習データを基に、より効果的な選択教科 を開設し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。

研究の内容・方法

・個に応じた指導のための教材開発

補充的な学習に関する教材開発の継続研究

国語科、数学科及び理科における教材・教具の開発及び活用方法の工夫 度

指導方法・指導体制の工夫改善

数学科及び英語科におけるティーム・ティーチング等の指導体制及び学習形 態の工夫

選択教科における指導体制の工夫改善

選択履修幅拡大に向けた生徒一人一人の学習データの収集及び分析

| (3) 研究推進体制  |   |                                     |                            |                                    |
|---|---|-------------------------------------|----------------------------|------------------------------------|
| 研修部・部会代表  | 国語部会<br>社会部会<br>数学部会<br>理科部会<br>英語部会                |                                     |                            |                                    |
| 平成 1 5 年度の研究<br>1 . 研究の成果<br>・選択教科における<br>た「少し有益だっ<br>・第 2・3 学年の学<br>・選択教科において<br>・数学科のティーム | 生徒の反省におた」と回答して<br>た」と回答して<br>カテストの平均<br>作成した教材      | 3いては、3<br>いる。<br>対点が例年<br>を家庭学習     | に比べ向上した。<br>引用に活用する生徒      | 学習が とても有益だっ<br>まが増加した。<br>る生徒が増えた。 |
| 2 . 今後の課題<br>・効果的なティー点<br>・選択教科における<br>学習状況の的確な<br>・選択教科において                                | るより有効な教<br>は把握                                      | 科選択を                                | 生徒自身にさせる                   | ための生徒一人一人の                         |
| 実施方法 第 2 学:<br>目 的 第 3 学:<br>第 2 学  | 標準学力検査:<br>年に「第1学年<br>年選択教科で生<br>年に「第1学年<br>状況を把握し、 | C R T<br>用」と「第 2<br>E徒自身が<br>E用」を実施 |                            | 実施<br>のデータにする。<br>楚的・基本的な学習内容      |
| フロンティアスク -<br>・ホームページ上に<br>上フロンティア事<br>・平成 1 6 年度に公   | 業にかかわる  | 内容の公開                               | 【 現在作成中)                   | 成した教材など学力向                         |
| ***************************************   | ~~~~~   | ~~~~~                               | ^~~~~                      | ~~~~~                              |
| 次の項目ごとに、該   | も当する箇所をチ  | ェックする                               | こと。( 複数チェック                | 7可)                                |
| 【新規校·継続校】   | ⊙15年度か  | らの新規校                               | □14年度か                     | らの継続校                              |
| 【学校規模】  | □3学級以下  |                                     | □4~6学級                     |                                    |
|   | □7~9学級  |                                     | □10~12学級                   |                                    |
|   | 013~15  | 学級                                  | □16学級以上                    |                                    |
| 【指導体制】  | 0少人数指導  |                                     | <ul><li>T. Tによる打</li></ul> | <b></b><br>道                       |
|   | □その他  |                                     |                            |                                    |
| 【研究教科)  | o国語   | o社会                                 | o数学                        | o理科                                |
|   | o外国語  | □音楽                                 | □美術                        | □技術·家庭                             |
|   | □ 保健体育  | □その他                                |                            |                                    |

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 □有 □無